

厚生労働省委託事業（受託者：公益財団法人原子力安全技術センター）

放射線被ばく管理に関する マネジメントシステム 導入支援のご案内

参加無料

電離放射線による労働者の健康障害防止を目的とする電離放射線障害防止規則が令和3年4月1日から改正施行され、眼の水晶体が受ける被ばく量（等価線量）の限度が、それまでの年間150ミリシーベルトから、1年間につき50ミリシーベルト、かつ、5年間で100ミリシーベルトに引き下げられます*。

医療の現場においても、労働者である医療従事者の放射線被ばく管理を充実させていくことが求められますが、その一方で、法令で定められた放射線測定器を医療従事者が適切に装着していない事例が散見されることが厚生労働省の検討会で報告されているなど、放射線被ばく管理に関する課題も抱えています。

本支援では、3回の研修等により、放射線業務に従事する医療従事者の被ばく低減のためのマネジメントシステム（詳しくは裏面をご覧ください）についてご説明し、貴機関における放射線被ばく管理を支援します。

参加は無料です。この機会にぜひ、ご参加ください。

* 遮蔽その他の適切な放射線防護措置を講じてもなおその眼の水晶体に受ける等価線量が5年間につき100ミリシーベルトを超えるおそれのある医師であって、その行う診療に高度の専門的な知識経験を必要とし、かつ、そのために後任者を容易に得ることができないものを使用する事業者には経過措置があります。

支援の概要

支援期間	令和2年9月から令和3年3月
研修の開催	上記期間中に3回開催（プログラムは、裏面をご覧ください）
開催方法	オンライン形式（ZOOMを使用）
対象（定員）	医療機関（200機関程度） ※ 申込多数の場合は選考させていただくことがあります。
参加費	無料
参加申込期間	令和2年 8月11日（火） ～令和2年 9月4日（金） 特設Webサイトからお申込ください。（裏面をご覧ください）
その他	<u>この研修に参加され、放射線被ばく管理に関するマネジメントシステムを導入する予定がある医療機関は、「令和2年度被ばく線量低減設備改修等補助金事業（申込期間：8月3日（月）から10月31日（土））」の交付決定審査において加点措置があります。</u> 補助金の詳細については、特設Webサイトをご覧ください。

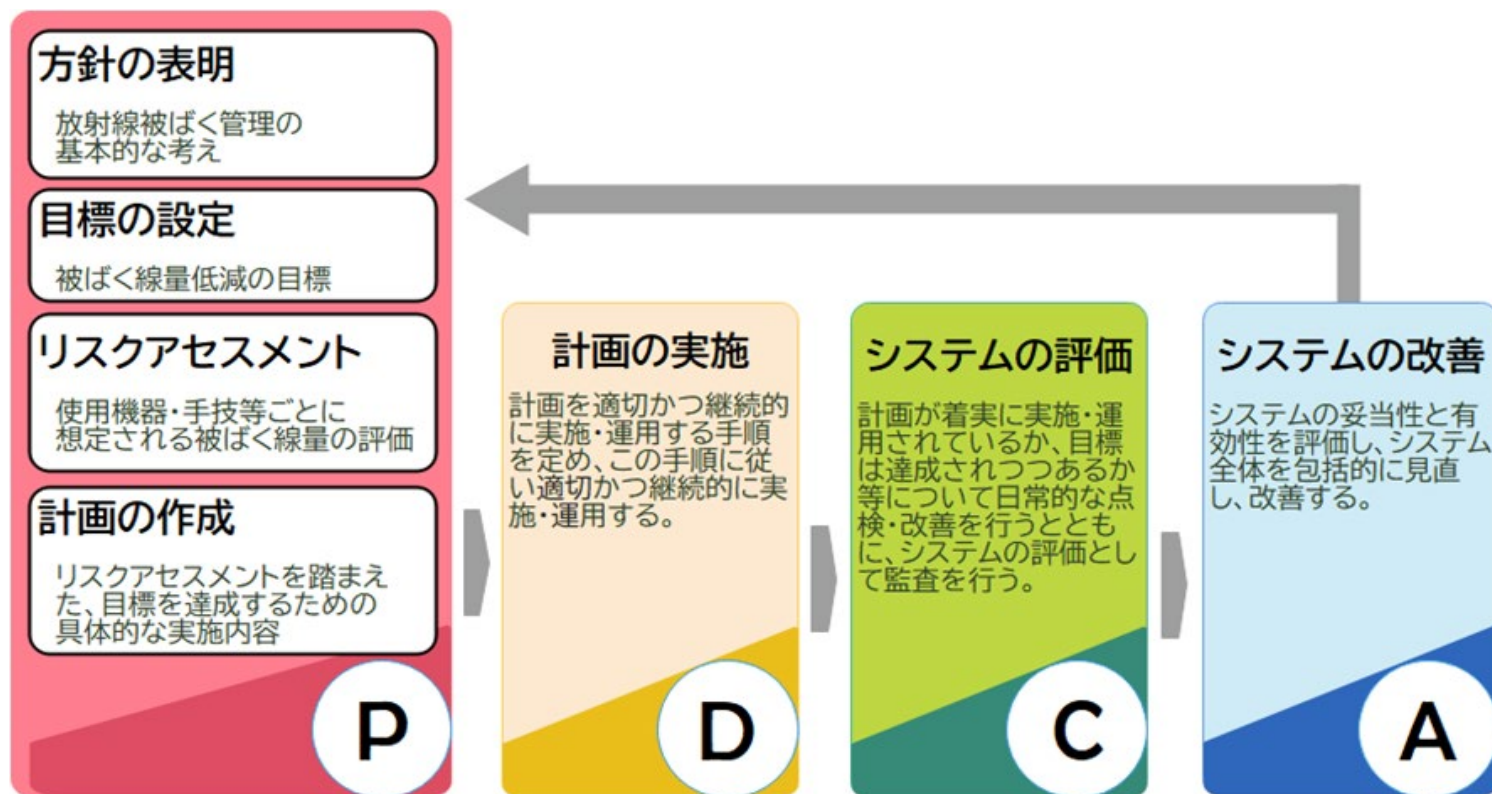
研修プログラム（予定）

支援開始	令和2年9月中旬	教材等関連資料の提供
第1回研修	令和2年10月中旬	方針・目標・計画の作成、リスクアセスメントの考え方
第2回研修	令和2年11月中旬	計画の実施、教育等
第3回研修	令和2年12月中旬	システムの評価・改善
報告会	令和3年 2月下旬	参加医療機関による取組の好事例の発表

- ※ 各研修は、半日程度を予定しています。
- ※ 確定した開催日及び研修プログラムは、特設Webサイトでご案内します。
- ※ 支援員が皆様の機関を訪問して支援することもできます（60機関ほどを予定）

放射線被ばく管理マネジメントシステムの概念

この研修で皆様にご説明する放射線被ばく管理マネジメントシステムは、労災疾病臨床研究補助金事業「不均等被ばくを伴う放射線業務における被ばく線量の実態調査と線量低減に向けた課題評価に関する研究」の研究成果によるものです。



お申込み・お問合せ先・特設Webサイトはこちらから

特設Webサイト <https://ms.nustec.org/>

お電話 : (03)3830-0720 (専用)
受付時間 : 土日祝を除く 10:00~12:00 ・ 13:00~17:00
メール : ms-jimukyoku@nustec.or.jp

公益財団法人原子力安全技術センター 原子力安全部 MS事業係
〒112-8604 東京都文京区白山5-1-3-101 東京富山会館ビル